

サーバー本体動作確認情報(Microsoft® Windows Server® 2022)

サーバー本体のWindows Server 2022動作確認状況です。

表内の留意事項を確認してください。

下表にないものは、カタログやシステム構成図でサポート状況をご確認ください。

【凡例】

WS22S: Microsoft® Windows Server® 2022 Standard

WS22D: Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter

WS22E: Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials

WSI22SS: Microsoft® Windows Server® IoT 2022 for Storage Standard

— : 対象外 (xx) : 留意事項と項番

機種名	WS22S	WS22D	WS22E	WSI22SS
PRIMERGY RX4770 M6	確認済 (H0)(H1.3)(H2.2)(H3)(H8.1)(H9.1)(H10)	確認済 (H0)(H1.3)(H2.2)(H3)(H8.1)(H9.1)(H10)	—	—
PRIMERGY RX4770 M5	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	—	—
PRIMERGY RX4770 M4	確認済 (H0)(H1.6)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	確認済 (H0)(H1.6)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	—	—
PRIMERGY RX2540 M6	確認済 (H0)(H1.1)(H2.1)(H3)(H4)(H5)(H6)(H7)(H9.1)(H10)	確認済 (H0)(H1.1)(H2.1)(H3)(H4)(H5)(H6)(H7)(H9.1)(H10)	—	確認済 (H0)(H1.1)(H2.1)(H3)(H4)(H5)(H6)(H7)(H9.1)(H10)(H11)
PRIMERGY RX2540 M5	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)(H9.2)	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)(H9.2)	—	—
PRIMERGY RX2540 M4	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	—	—
PRIMERGY RX2530 M6	確認済 (H0)(H1.1)(H2.1)(H3)(H4)(H5)(H6)(H9.1)(H10)	確認済 (H0)(H1.1)(H2.1)(H3)(H4)(H5)(H6)(H9.1)(H10)	—	—
PRIMERGY RX2530 M5	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)(H9.2)	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)(H9.2)	—	—
PRIMERGY RX2530 M4	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	—	—
PRIMERGY RX2520 M5	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	—	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)(H11)
PRIMERGY RX1330 M5	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)(H11)
PRIMERGY RX2450 M1	確認済	確認済	—	—
PRIMERGY GX2460 M1	—	—	—	—
PRIMERGY TX2550 M5	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	確認済 (H0)(H1.2)(H2.2)(H3)(H8.1)(H8.2)	—	—
PRIMERGY TX2550 M4	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	確認済 (H0)(H1.5)(H2.3)(H3)(H8.1)(H8.2)(H12)	—	—
PRIMERGY TX1330 M5	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)(H11)
PRIMERGY TX1320 M5	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)(H11)
PRIMERGY TX1310 M5	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H2.1)(H8.1)(H9.1)(H11)
PRIMERGY CX2560 M6	確認済 (H0)(H1.7)(H2.2)(H3)(H8.1)(H9.1)	確認済 (H0)(H1.7)(H2.2)(H3)(H8.1)(H9.1)	—	—

機種名	WS22S	WS22D	WS22E	WSI22SS
PRIMERGY CX2560 M5	確認済 (H0)(H1.4)(H2.2)(H3) (H8.1)(H8.2)(H9.3)	確認済 (H0)(H1.4)(H2.2)(H3) (H8.1)(H8.2)(H9.3)	—	—
PRIMERGY CX2550 M5	確認済 (H0)(H1.4)(H2.2)(H3) (H8.1)(H8.2)(H9.3)	確認済 (H0)(H1.4)(H2.2)(H3) (H8.1)(H8.2)(H9.3)	—	—

上記に記載のない製品のうち、2021年10月以前に出荷済の製品はWindows Server 2022のサポート予定はありません。

サーバー本体の留意事項

※現象や対策に特定のエディションが記載されていない場合、Windows Server 2022はWS22S/WS22D/WS22E/WSI22SSが対象となります。

留意事項番号	対象機種	現象	対策
H0	RX4770 M6 RX4770 M5 RX4770 M4 RX2540 M6 RX2540 M5 RX2540 M4 RX2530 M6 RX2530 M5 RX2530 M4 RX2520 M5 RX1330 M5 RX2450 M1 TX2550 M5 TX2550 M4 TX1330 M5 TX1320 M5 TX1310 M5 CX2560 M6 CX2560 M5 CX2550 M5	Switch Embedded Teaming (SET) とVirtual Machine Queue (VMQ) は同時に利用できません。	SETを同時に利用する場合、Virtual Machine Multiple Queues (VMMQ) を選択してください。 ※VMMQが有効の場合、VMQを明示的に無効にする必要はありません。
H1.1	RX2540 M6 RX2530 M6	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.7.0 以降
H1.2	RX4770 M5 RX2540 M5 RX2530 M5 RX2520 M5 TX2550 M5	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.31.0以降 ・BIOS 1.31.0より前の版数からアップデートする場合は、BIOS 1.32.0以降へのアップデートを推奨します。 ・BIOS 1.31.0へのアップデートをする場合は、留意事項があります。詳細は「 PRIMERGY RX2520 M5 / RX2530 M5 / RX2540 M5 / TX2550 M5 ご使用上の留意・注意事項 」をご確認ください。
H1.3	RX4770 M6	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.14.0 以降
H1.4	CX2560 M5 CX2550 M5	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョンをWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.18.0 or 1.20.0以降
H1.5	RX2540 M4 RX2530 M4 TX2550 M4	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.57.0 以降
H1.6	RX4770 M4	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.47.0 以降
H1.7	CX2560 M6	—	Windows Server 2022をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 BIOS 1.28.0 以降
H2.1	RX2540 M6 RX2530 M6 RX1330 M5 TX1330 M5 TX1320 M5 TX1310 M5	—	Windows Server 2022を使用する場合、セキュリティチップ (TPM 2.0モジュール) が必要です。 使用可能なセキュリティチップはシステム構成図を確認してください。

留意事項番号	対象機種	現象	対策
H2.2	RX4770 M6 RX4770 M5 RX2540 M5 RX2530 M5 RX2520 M5 TX2550 M5 CX2560 M6 CX2560 M5 CX2550 M5	—	Windows Server 2022を使用する場合、セキュリティチップ (TPM 2.0モジュール)はオプションであり必須ではありません。使用可能なセキュリティチップはシステム構成図を確認してください。
H2.3	RX4770 M4 RX2540 M4 RX2530 M4 TX2550 M4	左記の機種で搭載できるセキュリティチップ (TPM 2.0モジュール) [PY-TPM09/PYBTPM09]は、Windows Server 2022では使用できません。	Windows Server 2022を使用する場合、BIOS設定でTPMを無効にしてください。
H3	RX4770 M6 RX4770 M5 RX4770 M4 RX2540 M6 RX2540 M5 RX2540 M4 RX2530 M6 RX2530 M5 RX2530 M4 RX2520 M5 TX2550 M5 TX2550 M4 CX2560 M6 CX2560 M5 CX2550 M5	Windows Server 2022を再起動すると以下のシステムイベントログ (SEL)がiRMCに通知されます。 ・Generic OEM event with time stamp: RecordType: DF, ManufactId: 000137, EventData: 05000000-0000 ・Generic OEM event with time stamp: RecordType: DF, ManufactId: 000137, EventData: 04000000-0000	左記のシステムイベントログが表示されてもWindows Server 2022の動作に影響はありません。不要なイベントログの通知を抑制するためには、下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 iRMC 3.37P以降
H4	RX2540 M6 RX2530 M6	オンボードVGAを使用している場合、画面解像度が1024x768で固定されます。変更はできません。	以下のドライバで修正されています。ドライバは、Webからダウンロードしてください。 【ドライバ名称】On Board Graphicドライバ for Windows Server 2019/2022 Server 【バージョン】R508 - 08/10/2021, 4.5.50.5 以降
H5	RX2540 M6 RX2530 M6	左記のサーバーではSecured-Core Server機能は使用できません。	Secured-Core Server機能をサポートしているBIOSを適用する必要があります。下記バージョン以降をWebからダウンロードしてご使用ください。 RX2540 M6 V1.9.0以降 RX2530 M6 V1.9.0以降
H6	RX2540 M6 RX2530 M6	1装置あたり32コアを超える環境において、Windows Server 2022 のインストール、もしくは Windows Server 2022 を再起動するとBSOD(ブルースクリーン:Bug Check 0x50:PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA) が発生する可能性があります。	マイクロソフト社より公開されている最新の累積的な更新プログラムを適用してください。 本現象が発生した際は、以下のBIOS設定を実施後、改めてWindows Server 2022 のインストール、もしくはWindows Server 2022起動後に最新の累積的な更新プログラムを適用してください。 その後、BIOS設定を元の設定に戻してください。 BIOS設定 -Hyper-Threading を無効、かつ -Active Processor Coresの数字を1CPUあたり32 以下に設定 詳細は「Windows Server 2022 バンドルオプションご使用時の留意事項」を参照ください
H7	RX2540 M6	「ラックベースユニット (2.5インチ PCIe SSD×24)(PYR2546RHN)」はWindows Server 2022で使用できません。	以下のドライバで修正されています。ドライバは、Webからダウンロードしてください。 【ドライバ名称】PRIMERGY PCIeスイッチライバ for Windows Server 【バージョン】2.61.35.0 以降

留意事項番号	対象機種	現象	対策
H8.1	RX4770 M6 RX4770 M5 RX4770 M4 RX2540 M5 RX2540 M4 RX2530 M5 RX2530 M4 RX2520 M5 RX1330 M5 TX2550 M5 TX2550 M4 TX1330 M5 TX1320 M5 TX1310 M5 CX2560 M6 CX2560 M5 CX2550 M5	左記のサーバに搭載できるLAN (i210 / i350 / X710 / X722) では以下の機能を使用できません。 - SR-IOVを有効にした仮想スイッチ - Wake On Lan (WOL) - Switch Embedded Teaming (SET)	以下のドライバで修正されています。ドライバは、Webからダウンロードしてください。 【ドライバ名称】Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel (R) PROSet 【バージョン】27.2.1以降
H8.2	RX4770 M5 RX4770 M4 RX2540 M5 RX2540 M4 RX2530 M5 RX2530 M4 RX2520 M5 TX2550 M5 TX2550 M4 CX2560 M5 CX2550 M5	左記のサーバでは、Hyper-Vの役割を追加/機能を利用する場合は以下の留意があります。 1:BIOSの設定でSR-IOVの項目が無効の場合、Hyper-Vの役割追加時の再起動で、BSoD(ブルースクリーン)が発生する場合があります。 2:仮想スイッチ作成時にLAN(X710/X722)を選択した場合、仮想スイッチを作成することができない場合があります。	Hyper-Vを利用する場合は下記の対処を実施する必要があります。 1:BIOSの設定でSR-IOVの項目を有効にして、Hyper-Vの役割を追加してください。Hyper-Vの役割追加後もBIOSの設定でSR-IOVの項目を有効にし続ける必要があります。 2:仮想スイッチを作成する場合、LAN(X710/X722)以外のネットワークカードを利用してください。
H9.1	RX4770 M6 RX2540 M6 RX2530 M6 RX1330 M5 TX1310 M5 TX1320 M5 TX1330 M5 CX2560 M6	BIOSの[SATA Configuration]→[SATA Mode]で[RAID]に設定する場合、オンボードSATAコントローラに接続されたSATA HDD/SSDはWindows Server 2022では使用できません。	以下のドライバで修正されています。ドライバは、Webからダウンロードしてください。 【ドライバ名称】Intel VROC (SATA RAID) Windows driver 【バージョン】7.7.0.1260以降 また、本ドライバを使用する場合は、以下のソフトウェアの適用が必須です。 ・ServerView RAID Manager :v7.10.2以降 ・ServerView Agentless Service for Windows :v9.80.18以降
H9.2	RX2540 M5 RX2530 M5	BIOSの[SATA Configuration]→[SATA Mode]で[RAID]に設定する場合、オンボードSATAコントローラに接続されたSATA HDD/SSDはWindows Server 2022では使用できません。	以下のドライバで修正されています。ドライバは、Webからダウンロードしてください。 【ドライバ名称】ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Windows Driver 【バージョン】V18.02.2021.1118以降
H9.3	CX2560 M5 CX2550 M5	BIOSの[SATA Configuration]→[SATA Mode]で[RAID]に設定する場合、オンボードSATAコントローラに接続されたSATA HDD/SSDはWindows Server 2022では使用できません。	RAIDを利用する場合には、拡張カードをご利用ください。
H10	RX4770 M6 RX2540 M6 RX2530 M6	BIOSの[VMD Configuration]→[VMD Config for CPU x]で[Enabled]に設定する場合、VMDコントローラに接続されたPCIe SSDはWindows Server 2022では使用できません。	Windows Server 2022で使用する場合、[VMD Configuration]→[VMD Config for CPU x]で[Disabled]に設定してください。
H11	RX2540 M6 RX2520 M5 RX1330 M5 TX1330 M5 TX1320 M5 TX1310 M5	下記の番号が記載されているWindows Server IoT 2022 for Storage Standard のインストールメディアを使ってインストールする場合、オンボードSATAコントローラに接続されたSATA HDD/SSDは、BIOSの[SATA Configuration]→[SATA Mode]で[RAID]に設定できません。 【インストールメディア記載の番号】(※) ・CA41535-8569 ※ 番号はメディア左側に記載されています	RAIDを利用する場合には、拡張カードをご利用ください。

留意事項 番号	対象機種	現象	対策
H12	RX4770 M4 RX2540 M4 RX2530 M4 TX2550 M4	デバイスマネージャーで[コプロセッサ]に警告マークが表示される場合があります。	デバイスマネージャーで警告マークが表示されてもWindows Server 2022の動作に影響はありません。警告マークの表示を抑制するためには、下記のドライバをWebからダウンロードしてご使用ください。 【ドライバ名称】 ・PRIMERGY iRMC HTI デバイス ドライバ 【バージョン】 ・R107, 7.40 0以降 【手順】 SVIMを使ってインストールした場合、ServerViewのインストールフォルダ配下(*)にあるPrimeUpから「primeup.exe -clean」を実行してからHTIドライバを適用してください。 (*) フォルダの例: C:\Program Files (x86)\Fujitsu\ServerView Suite\PrimeUp